



入院看護と在宅看護の繋がり

～リウマチと共に生きる～

リウマチ疾患は長くお付き合いする病気です。だからこそ、リウマチ病棟では、入院中だけでなく、退院後の生活も含めて、安心して過ごせるような支援をしています。入院から退院に向けた関わりをご紹介します。

毎週月曜日回診の様子



当科では、リウマチ内科とリウマチ整形外科という2つの診療科があります。この診療科が連携することで、薬による治療と機能回復の両面から、皆さんの生活を支えています。痛みが強いときは、医師と連携して薬の調整や日常生活のお手伝いをします。また、手術や不安への対応をします。そして、毎週月曜日に、医師・看護師・リハビリスタッフで、患者さん全員のベットサイドを回り情報共有を行っています。

退院前カンファレンスの様子



継続した看護が必要な方には、地域の多職種と一緒に「退院前カンファレンス」を行っています。また、オムツ交換や処置等の介護指導も行っています。このような連携によって、「切れ目のない看護」が実現します。患者さんも、気になる事や不安なことを遠慮せずに伝えていただく事で、地域と連携した継続した看護に繋がります。

リウマチ病棟では、「ここに来て良かった」と思っただけのような、安心できる場所を目指しています。これからも、皆さんが自分らしく過ごせるよう支えていきます。

